

農林水産・食品分野の公募情報（2026年1月13日）

1月6日以降の新規の情報を赤字で示しています。

【研究開発関連】

■省庁等

- 農林水産省（大臣官房 新事業・食品産業部）：「令和7年度業種横断型プロジェクト実証支援事業」

https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/kanbo/251216_031-1.html

分野等：省力化等生産性向上に資する新たな技術の開発に向けて、食品事業者及び機械メーカー等が連携して行うプロジェクトを支援する。

公募期間：2025年12月16日～2026年1月16日

- 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構：「スマート生産方式SOP(スマート農業技術導入・運用手順書)作成研究」

https://www.naro.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/173322.html

分野等：

スマート農業技術の導入を推進するため、主要な営農類型や技術体系ごとに、スマート農業技術の導入効果を着実に發揮させる栽培体系等(飼養管理体系を含む)やサービス事業者等を介した技術の運用方法を検証し、スマート農業技術導入・運用手順書を作成する研究について公募を通じて委託する。公募する研究テーマは以下のとおりである。

1. 水田作

- ドローン直播に加え、施肥、防除等へのドローンの汎用利用による超省力的・低コスト生産体系の確立
- 中山間地域における畦畔管理作業の効率化技術等の導入による超省力的・低コスト生産体系の確立

2. 畦作

センシング技術を活用した肥培管理の導入や地域の複数は場におけるロボット農機の効率運用等による高位安定生産体系の確立

3. 露地野菜・花き作

自動収穫ロボットや運搬作業の自動化技術等の導入による精密栽培管理体系の確立

4. 施設野菜・花き作

自動収穫ロボットや出荷調製の自動化技術等の導入による効率的生産・出荷体系の確立

5. 果樹・茶作

管理・運搬作業等における自動化技術の導入による効率的生産・出荷体系の確立

6. 帰農・畜産

家畜個体識別・モニタリング技術等の導入による効率的な飼養衛生管理体系の確立

公募期間：2025年12月26日～2026年2月13日

- 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター：「スマート農業技術の開発・供給に関する事業」

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/smart-nogyo/offering/koubo/2025-2.html>

分野等：

1. 重点課題対応型研究開発（民間事業者対応型）

特に必要性が高いスマート農業技術の開発を促進するため、スマート農業技術活用促進法に基づく重点開発目標に沿った民間企業等による研究開発を実施。

2. 低コスト・小型化等現場ニーズ即応型開発

中山間地域等の生産現場の即戦力となる技術の開発・実用化を推進するため、「低コスト」や「小型化」等の現場ニーズに基づく研究開発を実施。

3. 技術改良・新たな栽培方法の確立の促進

開発技術を円滑に产地へ供給するため、メーカーとサービス事業者等によるプロトタイプの製造段階における改良や技術に適合した新たな栽培方法の確立を実施。

4. 先行的研究開発支援

スマート農業技術の研究開発を担う新たなプレーヤーの参画を推進するため、特に機動力、アイディアを有する高等専門学校や職業能力開発大学校等が独自の発想に基づく機関等を有するスマート農業技術を開発し民間企業と連携した供給につながる取組を実施。

公募期間：2025年12月26日～2026年2月13日

- 農林水産省（農産局）：「令和7年度農業生産におけるプラスチック排出抑制対策事業（プラスチック代替資材実用化推進事業）」

https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousan/260107_150-1.html

分野等：プラスチックの排出を抑制する観点から、紙・生分解性プラスチック等を使用したプラスチック代替資材の現場実証や情報発信等を支援する。

公募期間：2026年1月7日～28日

- ・水産庁：「令和7年度海洋環境の変化に対応した資源調査・管理体制の構築のうち漁獲枠消化状況共有プログラム開発事業」
https://www.jfa.maff.go.jp/j-gyosei/supply/itaku/260109_gyokakuwaku.html

分野等：管理年度途中の漁獲枠の融通を促進し、TAC（漁獲可能量）の有効活用を図るため、漁獲枠の消化状況を共有するプログラムを開発することを目的とする。

公募期間：2026年1月9日～29日

- ・独立行政法人日本学術振興会：「令和8(2026)年度国際共同研究加速基金（国際先導研究）」

https://www.jsps.go.jp/j-grantsinai/35_kokusai/05_sendou/koubo.html

分野等：我が国の優秀な研究者が率いる研究グループが、国際的なネットワークの中で中核的な役割を担うことにより、国際的に高い学術的価値のある研究成果の創出を目指す。ポストドクターや大学院生の参画により、将来、国際的な研究コミュニティの中核を担う研究者の育成にも資する。

公募期間：2026年1月9日～3月13日

- ・JST：「2025（令和7）年度 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）実装支援（返済型）」
<https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html>

分野等：大学等の研究成果（技術シーズ）の社会実装を目指す、スタートアップ等による実用化開発を支援する。

公募期間：2025年4月1日～2026年3月31日（随時選考・随時採択）

- ・JST：「ベルモント・フォーラム CRA（共同研究活動）課題募集」

https://www.jst.go.jp/inter/program/announce/announce_belmont_ocean2025.html

分野等：海洋：自然環境と人類の幸福に向けた生物多様性と生態系の持続可能性の希求

公募期間：2025年9月12日～2026年3月6日

- ・JST：「e-ASIA 共同研究プログラム 令和8年度採択「農業」領域 共同研究課題募集」

https://www.jst.go.jp/inter/program/announce_easia_jrp_15th.html

分野等：

1. Post-harvest and Agro-industrial Innovation
2. Smart and Climate-Resilient Farming

公募期間：2025年12月17日～2026年3月31日

- ・JST：「大学発新産業創出プログラム（START） 大学・エコシステム推進型 第2期スタートアップ・エコシステム形成支援」
<https://www.jst.go.jp/start/su-ecosys2/call2025.html>

分野等：大学から生まれる優れた技術シーズの実用化を目指すアントレプレナーシップを有する人材の育成を強力に支援し、社会変革や社会課題解決に繋がる社会的インパクトの大きいスタートアップが持続的に創出される体制を構築することを目的とする。スタートアップ・エコシステム拠点都市において中核となる大学・機関に対し、アントレプレナーシップを有する人材の育成とスタートアップ創出に一体的に取り組むための活動に必要となる支援を行う。

公募期間：2026年1月8日～2月9日

- ・NEDO：「2025年度 ディープテック・スタートアップ支援基金/国際共同研究開発」

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100502.html

分野等：ディープテック・スタートアップが海外市場への展開を目的として海外企業と行う共同研究開発に対し、NEDOと相手国側のイノベーション支援機関が並行して、それぞれ自国企業の研究開発費用の一部の助成等を行う。

公募期間：2025年10月14日～2026年1月21日

- ・NEDO：「2026年度研究開発型スタートアップの起業・経営人材確保等支援事業/ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業（NEP）/開拓コース」
https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100510.html

分野等：

- ディープテック分野での技術シーズを活用したアイデアの実現可能性調査を行う「NEDO Front-Runner（FR）」を公募する。FRは、NEDOが委嘱した事業化支援人材「Accompany Runner」によるハンズオン的な指導・助言を受けつつ、自ら起業することも視野に入れながら、技術シーズを活用したアイデアの実現可能性に関する調査として、以下等の活動を行って頂く。

- ・技術シーズの活用方法に関する探索活動

- ・市場ニーズに合わせた技術シーズの深化のための研究開発及びその方向性の決定
 - ・アイデアをもとにしたビジネスモデル作成・市場調査・試作品の製作
- 公募期間：2026年1月5日～2月24日

- ・厚生労働省：「令和8年度厚生労働科学研究費補助金（1次）」
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_67035.html
分野等：1. 行政政策研究分野、2. 疾病・障害対策研究分野、3. 健康安全確保総合研究分野
公募期間：2025年12月24日～2026年1月30日

- ・消費者庁：「令和8年度食品衛生基準科学研究費補助金」
<https://www.caa.go.jp/notice/entry/044085/index.html>
分野等：
 1. 食品微生物試験法の国際調和のための研究
 2. 「昆虫食」における大規模生産等産業化に伴う安全性確保のための研究
 3. 遺伝子組換え食品（植物のセルフクローニング等）の取扱いの検討に資する研究
 4. 既存添加物の規格基準設定に資する新たな基盤技術の開発のための研究
 5. 加工食品中の残留農薬等による暴露量を評価するための研究
 6. 残留農薬規制における国際調和に資する取組を推進するための研究
 7. 食品の規格基準の策定に資する研究（研究課題名は提案による）
 8. 機能性表示食品制度の信頼性及び機能性表示食品の安全性の向上に資する研究

公募期間：2025年12月25日～2026年1月23日

■民間等

- ・一般財団法人杉山産業化学研究所：「2026年度研究助成」
<https://www.sugiyama-c-i-l.or.jp/youkou.html>
分野等：主として「健康な暮らしを支える産業に寄与することを目的とする研究」とし、医薬、食品、健康、環境、衛生等の分野に結びつく研究領域とする。
公募期間：2025年8月1日～2026年3月31日
- ・公益財団法人 Konno&レスター財団：「2026年度研究助成」
https://kr-fd.or.jp/application_details/application2026/
分野等：
「農林水産業における革新的・先進的技術に関する研究」で、以下の領域に関する研究を助成対象とする。
 1. 植物工場/施設園芸に関する研究
 2. 海洋養殖/陸上養殖に関する研究
 3. 環境保全とバランスの取れた林産技術に関する研究
公募期間：2025年10月1日～2026年1月15日
- ・公益財団法人山田科学振興財団：「2026年度研究援助」
https://yamadazaidan.jp/requirements/grant-bosyu_kenkyu/
分野等：自然科学の基礎的研究
公募期間：2025年10月1日～2026年2月28日
- ・一般財団法人糧食研究会：「2026年度研究テーマ募集」
<https://www.ryouken.or.jp/josei/index.html>
分野等：食品機能（一次、二次、三次機能等）、食品評価（おいしさ、物性・食感等）、食品設計・加工・生産技術、食品安全、腸内細菌叢などに関する研究
公募期間：2025年10月16日～2026年2月16日
- ・一般財団法人アズビル山武財団：「2026年度研究開発助成」
<https://azbilyamatake.or.jp/grant.html>
分野等：
計測と制御領域に関する研究で、かつ、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）に合致した、次のa、b、cの何れかの研究を助成の対象とする。
a：社会課題解決、環境保全および地域特有の動植物の育成・保全に関する研究
b：人が健康に暮らすために必要な研究
c：中長期的に産業界に応用が期待される基礎研究

公募期間：2025年11月1日～2026年1月31日

- ・一般財団法人旗影会：「2026年度研究助成」

<https://www.nakashima-foundation.org/kieikai/entry/index.html>

分野等：

1. 特別助成

タマゴに関する研究（タマゴの新規活用、健康機能、衛生、調理科学、食文化など）

2. 一般助成

1) 食品工業および調理科学、2) 農産、3) 畜産

公募期間：2025年12月1日～2026年1月末日

- ・公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団：「2026年度研究助成」

<https://www.takanofoods.co.jp/company/foundation/subsidy.html>

分野等：

1. 豆類や穀類の生産技術（栽培、育種、植物栄養、根圈微生物等）に関する研究

2. 豆類や穀類、並びにそれらの加工品の食品機能（栄養機能、嗜好機能、生体調節機能等）に関する研究

3. 豆類や穀類の加工、保藏、流通技術に関する研究、並びにそれらの発酵に関する微生物や酵素の探索、特性、利用に関する研究

公募期間：2026年1月9日～3月4日

- ・公益財団法人海洋化学研究所：「令和8年度伊藤光昌氏記念学術助成金」

<https://www.oceanochemistry.org/prizes&funding.html>

分野等：海洋化学に関する基礎研究及び応用研究

公募期間：2025年11月8日～2026年2月6日

- ・公益財団法人サッポロ生物科学振興財団：「2026年度研究助成」

<https://www.sapporoholdings.jp/foundation/publicoffering/>

分野等：

1. 消費者を知るための調査・研究

2. 食品機能に関する調査・研究

3. 「おいしさ」を創出する調査・研究

4. 北海道の食産業振興に貢献する調査・研究

公募期間：2025年11月25日～2026年1月14日

- ・NPO法人日本メディカルハーブ協会：「2026年度研究助成事業」

<https://www.medicalherb.or.jp/research/research-grant-program>

分野等：メディカルハーブの有用性や機能性、相互作用に関する研究など、幅広い調査・研究を対象とする。

公募期間：2025年11月20日～2026年1月15日

- ・株式会社リバネス：「第71回リバネス研究費 ライフテック賞」

<https://r.lne.st/grant/71-lifetech/>

分野等：未来の「行動・価値観・生活様式」を形づくる研究

公募期間：2025年12月1日～2026年1月31日

- ・株式会社リバネス：「第71回リバネス研究費 第0ドック賞」

<https://r.lne.st/grant/71-zerodock/>

分野等：未来の船を作ることにつながるあらゆる分野の研究

公募期間：2025年12月1日～2026年1月31日

- ・リカケンホールディングス株式会社：「2026年度若手研究者支援助成」

https://www.rikaken-hd.co.jp/research_grant/5874/

分野等：ライフサイエンス分野（生命科学に関する化学、生物学、薬学、理学、工学等）

公募期間：2025年12月1日～2026年1月31日

- ・公益財団法人深田地質研究所：「2026年度深田研究助成」

https://fukadaken.or.jp/?page_id=7862

分野等：

複合的地球システム及びその社会とのかかわりに関する研究等を助成対象とする。ここでいう研究等とは以下の1から

6までの各領域のいずれかに該当するもので、野外調査もしくは試験、実験を含む内容であること。

1. 地質学に関する研究
2. 応用地質学に関する研究
3. 地球物理学に関する研究
4. 地盤工学に関する研究
5. 環境工学に関する研究
6. 防災工学に関する研究

公募期間：2025年12月1日～2026年2月2日

- ・公益財団法人三菱財団：「第57回（2026年度）自然科学研究助成」

<https://www.mitsubishi-zaidan.jp/support/index.html>

分野等：自然科学のすべての分野にかかる独創的かつ先駆的研究

公募期間：2026年1月5日～2月2日

- ・一般財团法人大日本蚕糸会：「令和8年度貞明皇后研究助成」

<https://silk.or.jp/business/research-grant/>

分野等：

1. 自由課題

蚕糸絹に関する科学技術の研究及び発明並びにその応用を助長し、蚕糸絹業の改良発達を通じた蚕糸絹文化の発展向上に寄与することを目的とする研究

2. 指定課題

1) 蚕の暑熱対策に関する研究、2) 蚕病対策に関する研究

公募期間：2025年12月1日～2026年1月30日

- ・公益社団法人新化学技術推進協会：「第15回新化学技術研究奨励賞」

https://www.jaci.or.jp/recruit/page_02_15_2026.html

分野等：

特別課題：革新的化学工学に関する基盤的研究

課題1：持続可能な社会の実現を目指した環境技術の研究

課題2：新しい資源代替材料・技術の創製、および資源の節約・回収・再利用に関する基盤的研究

課題3：バイオマス由来製品の事業化課題を解決する革新的なバイオマス変換技術もしくはバイオマス由来素材の開発

課題4：エネルギー変換・貯蔵・省エネ分野における革新素材・技術に関する研究

課題5：AI/DX時代を支えるエレクトロニクス材料に関する研究

課題6：マイクロナノシステムの用途拡大につながる新規な材料・加工技術、及びデバイスに関する研究

課題7：生体機能を利用した新規合成・生産・製造に貢献する基盤技術と評価技術に関する研究

課題8：生体機能・生体分子に着目した革新的ライフサイエンス材料に関する研究

課題9：新たな社会への対応を目指した脳科学および感性科学の研究

課題10：社会の未来像に向けた材料設計・プロセス設計のための計算科学・計算工学・データ科学の研究

課題11：世界に先駆けた新産業創出に資する「新素材」実現のための基盤的研究

課題12：サステイナブルな社会の実現に向けた革新的反応技術に関する研究

公募期間：2025年12月5日～2月5日

- ・公益財団法人三島海雲記念財団：「2026年度学術研究奨励金（自然科学部門）」

<https://www.mishima-kaiun.or.jp/assist/natural-science/>

分野等：食の科学に関する学術研究

公募期間：2026年1月9日～2月28日

- ・一般財団法人キーコーヒー柴田裕記念財団：「2026年度研究助成」

<https://key-ysfoundation.jp/requirements.html>

分野等：

1. 農作物とその加工に関する基礎的調査及び研究

2. おいしさに関する研究

3. 外食に関する研究

4. 気候変動に関する研究

5. コーヒーの品種と栽培に関する基礎的調査及び研究

公募期間：2025年12月15日～2026年3月27日

- ・公益財団法入土科学センター財団：「2026年度研究助成金」

<https://geo-kagaku.or.jp/grant/>

分野等：

1. 土の安定化に関する学術研究、技術開発
2. 土に関する社会学的研究

公募期間：2025年12月20日～2026年1月30日

- ・公益財団法人武田科学振興財団：「2026年度生命科学研究助成」

<https://www.takeda-sci.or.jp/research/assist/life.php>

分野等：生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究

公募期間：2026年1月6日～3月2日

- ・公益財団法人武田科学振興財団：「2026年度ライフサイエンス研究助成」

<https://www.takeda-sci.or.jp/research/assist/lifescience.php>

分野等：生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究

公募期間：2026年1月6日～3月9日

- ・株式会社リバネス：「第71回リバネス研究費 incu・be賞」

<https://r.lne.st/grant/71-incube/>

分野等：大学院生が自ら取り組むあらゆる研究

公募期間：2025年12月1日～2026年1月31日

- ・一般財団法人東洋水産財団：「2026年度学術奨励研究」

<http://toyosuisanzaidan.or.jp/academic/index.html>

分野等：

1. 食品の加工・保藏に関する研究
2. 食品の安全性に関する研究
3. 食品の機能性に関する研究
4. 食品または水産分野におけるバイオテクノロジーに関する研究
5. 食品の未利用資源（または廃棄物）の有効利用に関する研究
6. その他食品科学に関する研究 等

公募期間：2025年12月24日～2026年3月25日

- ・一般財団法人金森財団：「2026年度研究助成」

<http://www.kanamori-foundation.or.jp/kenkyu.html>

分野等：電気電子工学、光学関連、機械工学、化学関連、医療機器関連、環境・エネルギー関連、材料工学、農学（機能性食品等）

公募期間：2026年1月5日～4月20日

- ・公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：「2026年度研究助成」

<https://www.krf.or.jp/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野 等

公募期間：2026年1月6日～8月31日

【研究開発関連以外】

■省庁等

- ・農林水産省（大臣官房 新事業・食品産業部）：「令和7年度地域の食品産業ビジネス創出プロジェクト支援事業」

https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/kanbo/251217_014-1.html

分野等：地域の食品産業と農林漁業者等関係者の連携・協調の促進のための研修会やマッチング、国産・地域原材料を用いた商品開発、地域の課題解決に活用可能な新技術の研究・開発等を支援する。

公募期間：2025年12月17日～2026年1月28日

- ・農林水産省（大臣官房 新事業・食品産業部）：「令和7年度フードテックビジネス実証・実装事業」

https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/kanbo/251222_014-1.html

分野等：フードテック等を活用した技術の事業化のための実証及び実装並びに成果の横展開等を行うことで、多様な食の需要への対応、食に関する社会課題の解決及び食品産業の国際競争力の強化のための新たなフードテックビジネスの創出を図る。

公募期間：2025年12月22日～2026年1月28日

- ・ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金事務局（全国中小企業団体中央会）：「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（第22次公募）」

<https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/hojyokin/kobo/2025/251024001.html>

分野等：生産性向上に資する革新的な新製品・新サービス開発や海外需要開拓を行う事業のために必要な中小企業等の設備投資等の取組を支援する。

公募期間：2025年10月24日～2026年1月30日